

報告2-2

行政と事業者が企画段階から話し合いを重ね、互いの力を
活かしながら地域に根差した施策や取組みを拡充

平成29年 6月22日 第1回
認知症地域支援体制推進全国合同セミナー
認知症介護研究・研修東京センター

行政と事業者が住民本位で協働する

霧島市地域密着型サービス事業者連合会

黒岩 尚文



地域密着型サービス事業所整備箇所数

平成29年6月現在

		国分	国分北	国分南	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人北	隼人南	福山	合計
認知症対応型 通所介護	箇所	2	1	1	1	---	---	1	1	---	---	7
	定員	24	10	12	12	---	---	12	9	---	---	79
小規模多機能型 居宅介護	箇所	3	1	4	2	1	2	1	2	1	1	18
	定員	51	29	112	54	25	37	25	103	25	29	490
地域密着型 通所介護	箇所	3	4	4	---	---	1	---	2	---	---	14
	定員	43	55	55	---	---	10	---	33	---	---	196
認知症対応型 共同生活介護	箇所	4	2	4	2	1	1	3	3	3	1	24
	床数	45	27	36	27	9	18	54	63	63	9	351
地域密着型介護 老人福祉施設 入所者生活介護	箇所	1	---	---	---	1	---	---	1	---	---	3
	床数	29	---	---	---	20	---	---	29	---	---	78

地域密着型サービス事業者は 市の事業を展開していくうえでのパートナー

○霧島市小規模多機能ホーム連絡会

平成18年、「霧島市小規模多機能型居宅介護事業者・開設予定者意見交換会」として活動開始

平成19年7月提案、「霧島市小規模多機能ホーム連絡会」へ

- ・毎月1回の会合
- ・市職員、地域包括支援センター職員も参加

○霧島市地域密着型サービス事業者連合会

小規模多機能ホーム、グループホーム、認知デイの事業者が連絡会を組織し活動



サービス形態・活動内容等は異なるが「目的」は同じ。

(地域に密着し、事業所としての資質向上・ネットワークの構築etc)

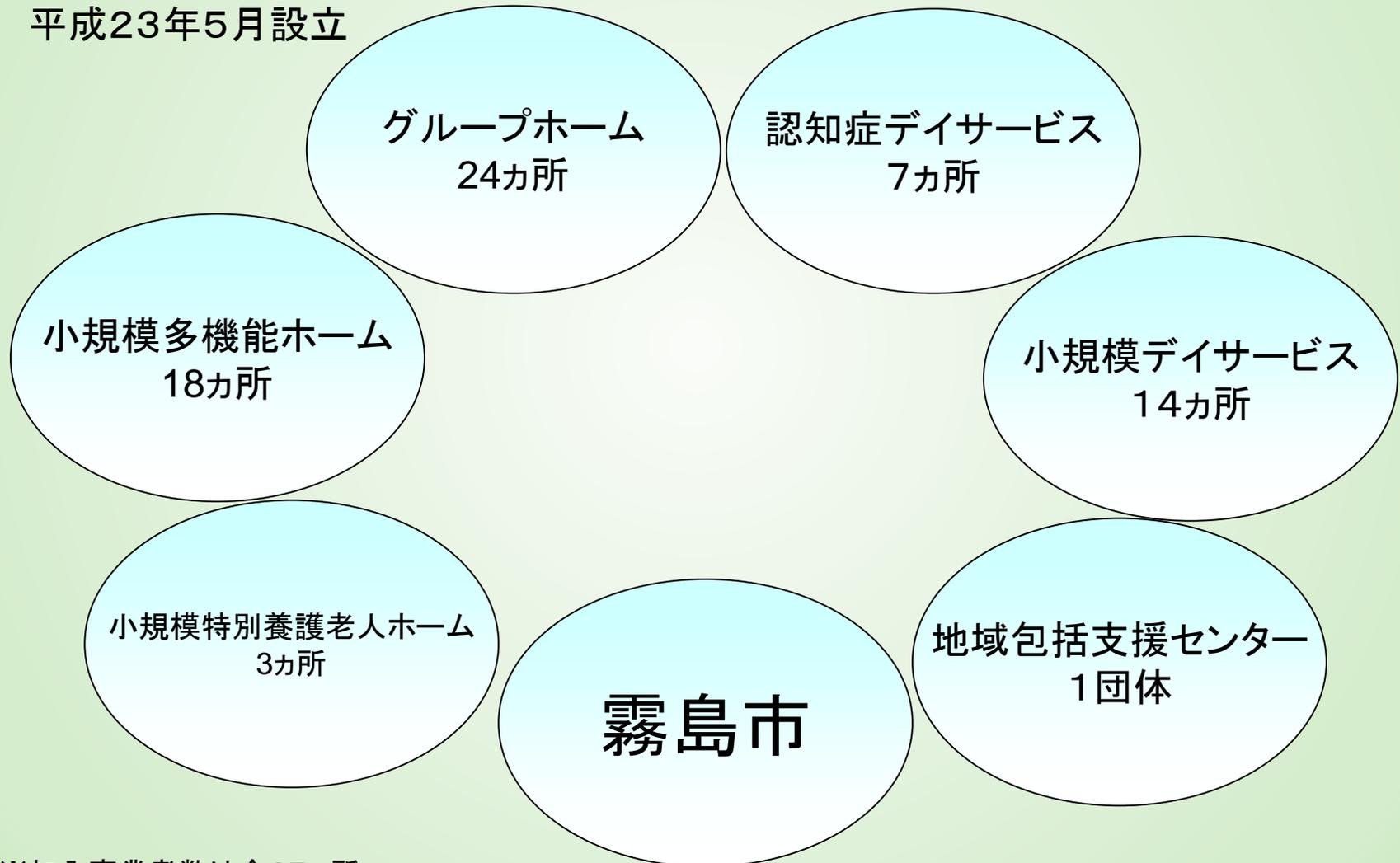
平成23年5月に連合会設立し、現在に至る

市の施策を連合会と協働して展開

※あくまで行政は黒子役に徹する

霧島市地域密着型サービス事業者連合会

平成23年5月設立



※加入事業者数は全67カ所

霧島市地域包括ケア ライフサポートワーカー

高齢者が住み慣れた地域で、安全で安心した暮らしが継続的に支援できる体制を構築するために霧島市独自で養成した者

○毎月活動報告書提出

○年間20時間以上のスキルアップ研修参加・グループ活動20時間活動は、班に分かれて、活動内容の検討を行い、事業の検証、実践に取り組んでいる。

- ・平成24年度 第一期生を養成 (35名受講)
 - ・平成25年度 第二期生を養成 (19名受講)
 - ・平成26年度 第三期生を養成 (27名受講)
 - ・平成27年度 第四期生を養成 (26名受講)
 - ・平成28年度 第五期生を養成 (34名受講)
- 141名受講

現在、120名
が活動中

地域密着型サービス事業所と連携した地域包括ケア体制構築(霧島市)



行政



地域包括支援センター

地域密着型サービス事業所



ライフサポートワーカー

まちかど介護相談所



家族介護の方法や福祉サービスの利用方法についての相談

○地域密着型サービス事業所に、本人中心のケアを実践できる人材である「ライフサポートワーカー」を養成し配置する。

○ライフサポートワーカーを配置している事業所を「まちかど介護相談所」として位置付けるとともに、地域におけるたまり場である「地域のひろば」として活動する。

認知症ケア・支援の普及・啓発



認知症サポーターの養成、小中学校への福祉教育、介護者教室の開催

地域のひろば



介護予防教室、住民交流サロン、地域見守りの話し合いの場提供

○毎月活動報告書提出
○年間20時間以上のスキルアップ研修参加・グループ活動20時間

「私のアルバム」の普及・啓発



「私のアルバム(認知症連携パス)」の作成・作成支援のための出前講座

地縁団体・ボランティア等との連携



ボランティア団体、自治会、地区社協等との共同による見守り活動・防犯活動づくり



その他介護保険サービス事業所

認知症疾患医療センター等



まちかど介護相談所

★地域密着型サービス事業所と連携した地域包括ケア体制づくり事業

「霧島市地域包括ケア ライフサポートワーカー」が在籍する地域密着型サービス事業者では、介護保険、認知症、生活相談等ができる地域の身近な相談所「まちかど介護相談所」として本人・家族等の不安、疑問、問題点の解決解消または話し相手として活躍。



のぼりと看板が目印



地域のひろば推進事業

介護予防拠点またはライフサポートワーカーが在籍する地域密着型サービス事業者が、高齢者を中心とする様々な交流やコミュニティを生み出していく地域福祉の拠点として活動できるように支援し、地域の交流の場、集える場となるようなプログラムを計画し、介護保険や認知症などの知識の向上、閉じこもり防止などの介護予防を図ることを目的とする。

ワーカー、地域や民生委員の方などと計画を立てる

地元には、これまでの経験を生かした得意なことができる、「しっちょいどん」(知っている人)が多い →→→ 先生・講師となる

平成25年度 17事業所で実施

平成26年度 21事業所で実施

【例】

- ・認知症サポーター研修
- ・私のアルバムづくり
- ・脳の健康教室
- ・郷土料理教室
- ・映画鑑賞とマッサージ
- ・運動改善、栄養改善
- ・生け花教室
- ・むかし遊び
- ・菊づくり
- などなど

<実施箇所>

25年度・・・18カ所

26年度・・・22カ所

27年度・・・27カ所

<実施回数>

月1回～月5回

<開催場所>

事業所、公民館、個人宅 等

プログラム内容

健康体操	映画鑑賞	講話
笑いヨガ	習字	音楽療法
鍼灸マッサージ	調理	私のアルバム作成
脳トレ	料理	園芸
手芸	手芸	慰問・奉仕作業
エコクラフト	ゲーム	世代間交流

体操



笑いヨガ



マッサージ

手芸



エコクラフト



0



フラワーアレンジメント



脳トレ

AED講座



省エネ教室



ゲーム



園芸

味噌作り



サンドイッチ作り



ちまき作り



干し柿作り

パン作り



がね作り



桜もち作り



きんかん豆腐づくり

菊づくり⇒菊まつり⇒仙巖園視察



世代間交流



「しあわせ物産館」

【目的】

- 人と人、多様な業種がつながることで、誰もが暮らしやすい楽しいまちづくりのきっかけとする。
- 高齢者や障害を持たれた方が気軽に外出できる社会を目指し、未来の福祉を考えられるような催しにする。



【実行委員メンバー】

- 霧島市 副議長
- 始良鍼灸マッサージ会 会長
- 大隅横川駅保存会 実行委員長
- 植山 竜三氏(車いすの和)
- 商工会議所 青年部
- 第一工業大学の先生
- 霧島市役所 職員
- 障害者事業所 職員
- 地域のひろば班
- あったら良いな班
- 他班
- 国分圏域 作業部会

皆さん、お待です！
たまごの産み取り

みんなで楽しめる
釣り堀り

職員が賣える
ゲーム

物産館

し

あ

わ

せ

えがおの輪
未来への
「コラボレーション」

開催
日時

平成29年 **3月12日(日)** 午前10時～午後1時

場所

霧島市役所 市民広場

ステージ

10時30分 オープニング
10時40分 みんなでリトミック
10時50分 車椅子バスケット
11時10分 地域の未来トーク

出し物

●福祉車両展示
●あったか足湯
●カッコイイ未来の車椅子
スケッチの展示

●未来の車椅子試乗会
●黒野本舗 柳志田
●手づくりピザ・ポップコーン・ラーメン・
美味しい挽きたて珈琲・蒸しめなど

主催・・・霧島市地域包括ケアサービス事業推進委員会
共催・・・霧島市
後援・・・第一工業大学 株式会社 FM 霧りしま
南九州ケーブルテレビネット株式会社 霧島商工会議所青年部

カッコイイ未来の車いすスケッチ大会

【対象者】

半成人式を迎えた霧島市内の全小学校四年生。(35校、1200名に配布)→900作品の応募

・入賞者7名を表彰し、100作品を展示

イベント終了後は国分山形屋へ展示

・最優秀賞の作品は「実際の車いす」として再現される



車いす



ケガや病気で歩けなくなったり、お年寄りになって歩くことがむずかしくなった人が使うのが、「車いす」です。

【車いすを使うことでいろいろなことができます。】

- ・車いすで、家族や友人と一緒に買い物や食事。
- ・車いすで、車や電車や飛行機などの乗り物に乗って、遠くへの旅行。
- ・たくさんのスポーツを楽しむこともできます。



車いすマラソン



車いす卓球



車いすテニス



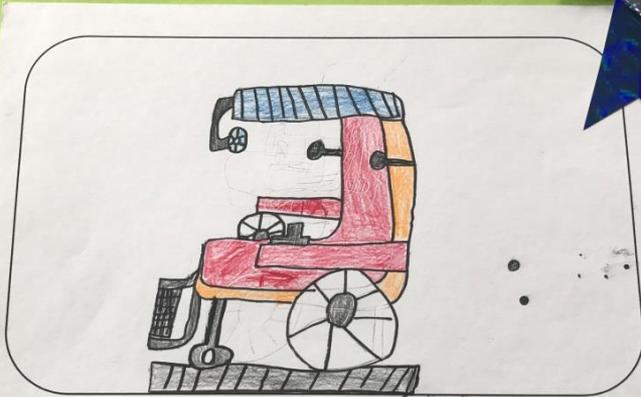
階段やでこぼこ道、砂の上や急な坂道など、まだまだ車いすで行けないところがたくさんあります。
もっと車いすでも楽しめるような未来になって欲しいですね。

カッコイイ未来の車いすをえがいてみましょう！
テーマは「こんな車いすがあったらいいな・・・」

いろいろな思いをふくらませて自由にえがいてください。
クレヨン、絵の具、色えんぴつ、マジックなんでも使用可です。
配布した用紙(A4)に絵をえがき、3/2までに担任の先生に提出してください。

※用紙の裏にどのような思いでえがいたのかを記入してください。
※入賞者には賞品を授与、最優秀賞に選ばれた作品をモデルにした車いすが、かたちになってまら走ります。

霧島市長賞



学校名/牧之原小学校 名前/堀田 幸輝

【わたしの思い】
 ○題名は輝きです。速さをちょうせつできて、かいだん、でこぼこ道も自由にいける。た
 おしたらねることもでき、冬は、だんぼう、夏はせんがうきがついてすずしくなっていて、
 日があたらないようにかげもついています。あしがわるくても、海や川にも行けてべんり
 です。そして全部がおりたたみできるようになっています。ソーラーパネルでためるこ
 ともできます。どんなスポーツもできます。とてもかるくて、もちほこびがらくです。高
 さもちょうせつできます。かたたきもあります。あたまでかんがえたことをなんでもし
 ます。色は自由にえらべます。

FMきりしま賞



学校名/国分小学校 名前/遠藤 詩乃

【わたしの思い】
 ○ケガや病気の人などが、車いすを利用するさいに、明るくて幸せな気持ちになるように、
 たくさんのお花でかざってある車いすをかきました。花のいいにおいにかきわけて、小鳥や、
 チョウなどおやつてくれるので嬉しくありません。ひびきかいている音楽がタコお
 すと、楽しい音楽がながれてきて、ますますうれしくなります。こんな車いすがあったら
 いいな...

霧島市議会議長賞



学校名/国分西小学校 名前/永石 愛理

【わたしの思い】
 ○思いにのっている人は、「トイレがしやすい」と考えたので、これを書きました。
 ○タッチパネルでさうじできる。
 ○タイヤがじゃまだったのでタッチパネルで後ろにまわせるようにした。
 ○ナビや電報もつけた。

参加したクラスには認定証を授与！

・車いすの人に優しい
クラス認定証を授与
しました。

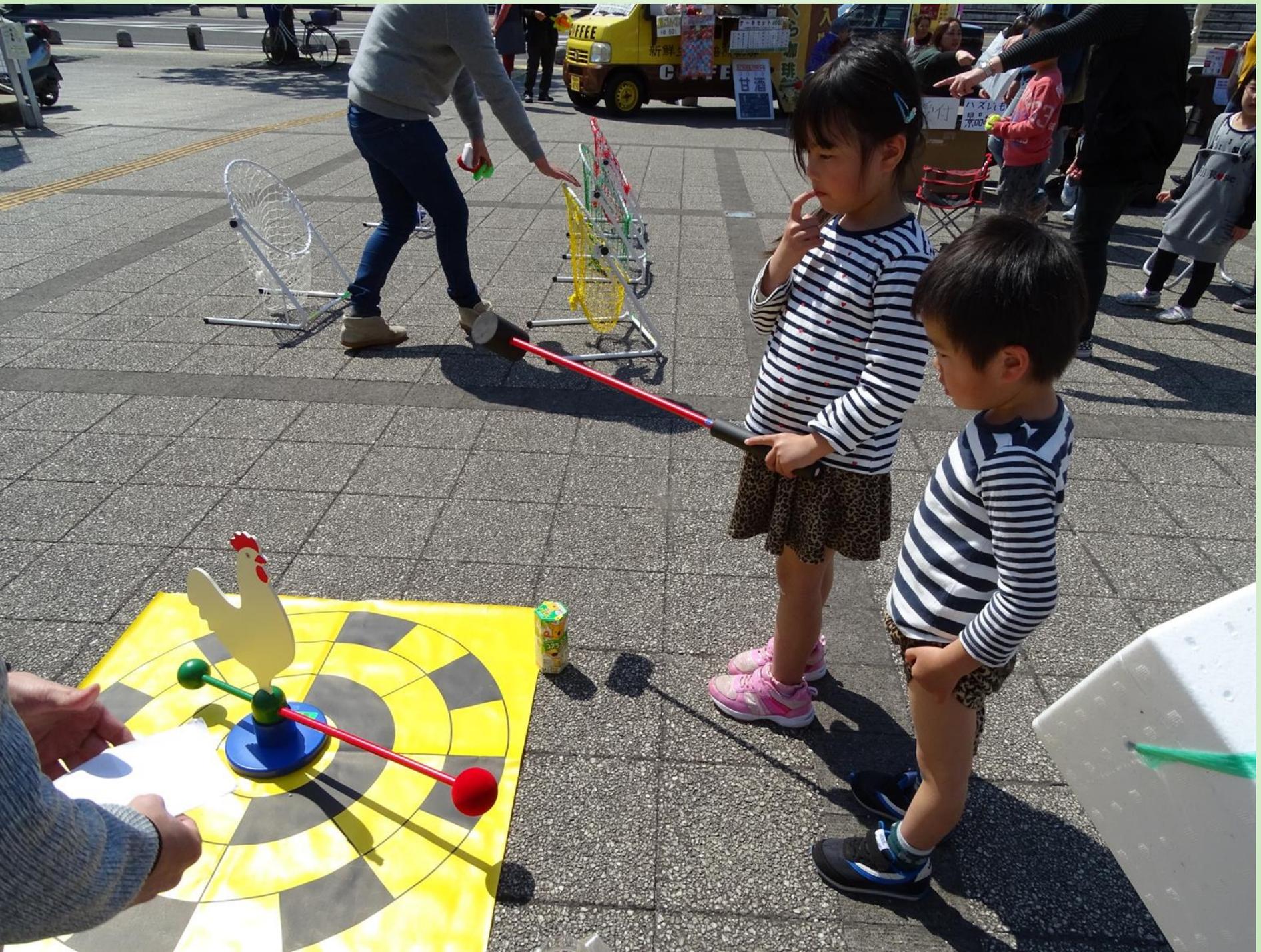
今回のつながりを大切
にし、今年度は認定
証を授与したクラスに
出向き

新たな取り組みを実践
していきたいと思っ
ています。











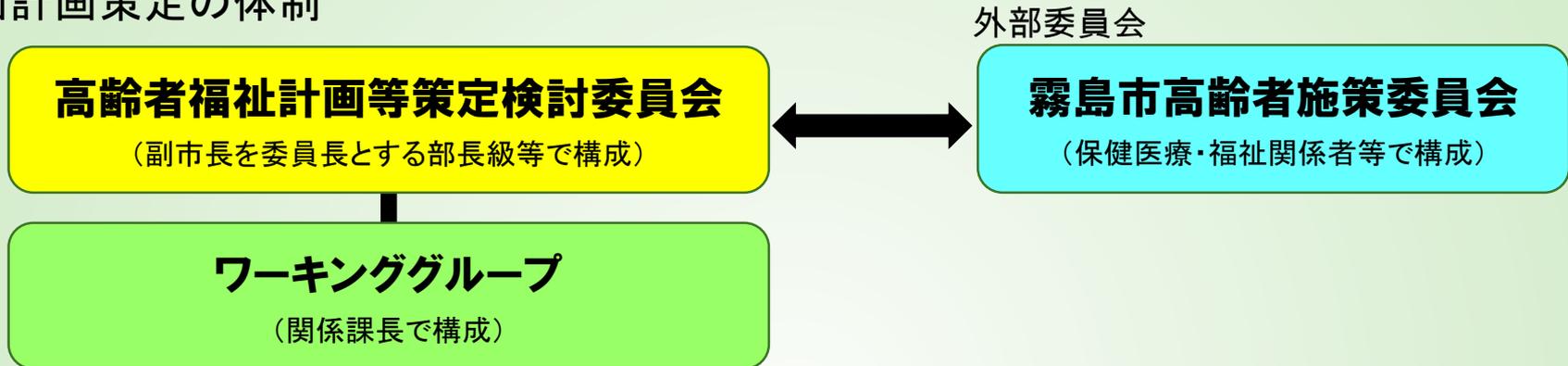




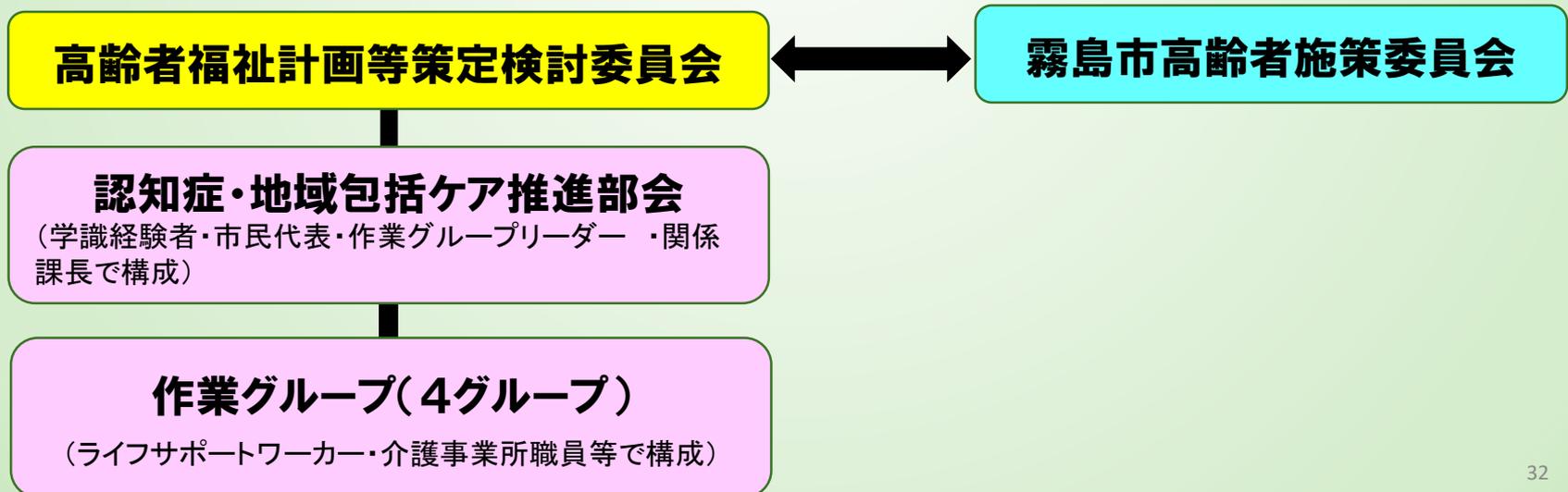


霧島市第7期高齢者福祉計画・ 第6期介護保険事業計画策定

前回計画策定の体制



今回計画策定の体制



認知症・地域包括ケア推進部会の役割

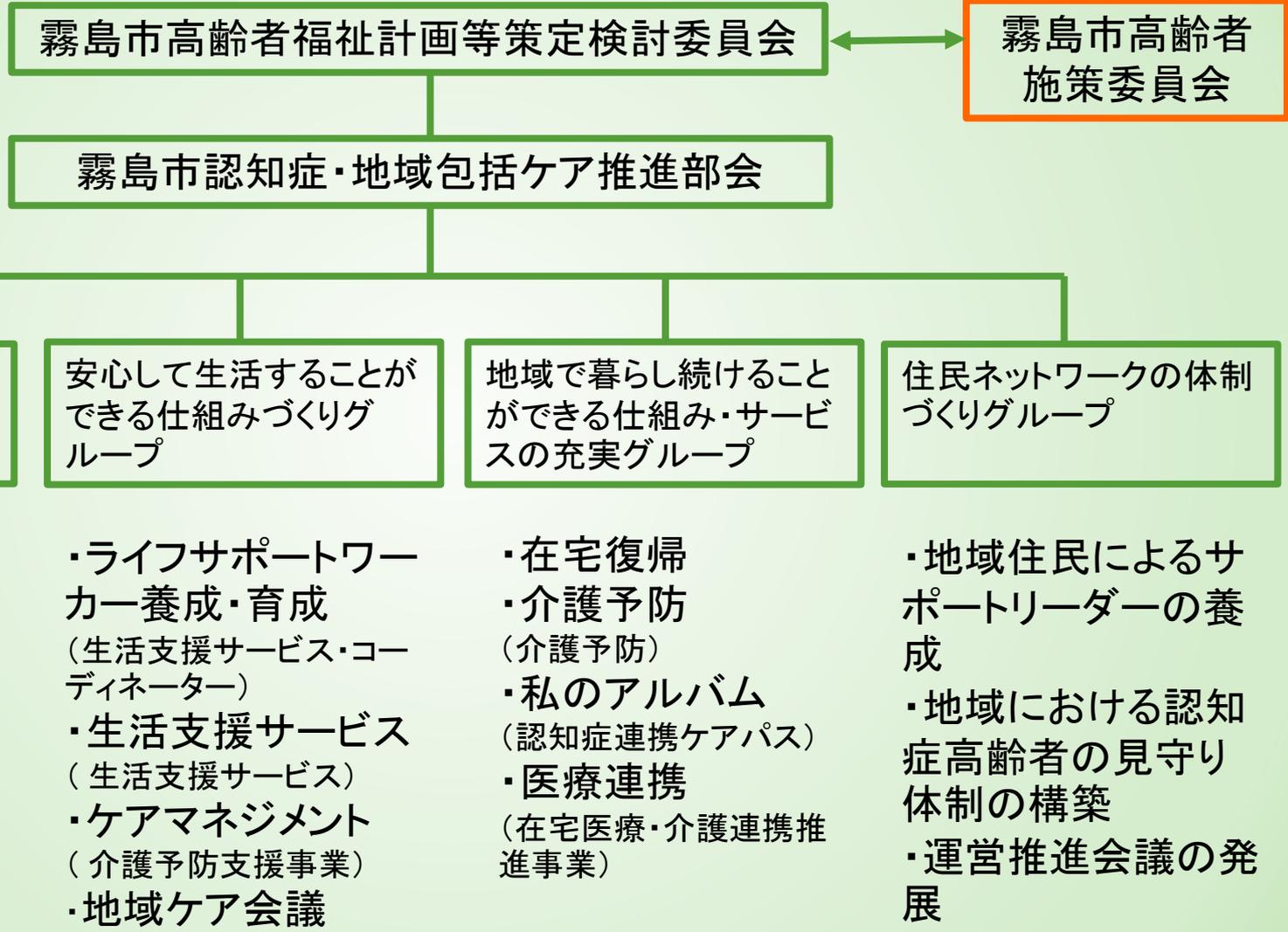
認知症・地域包括ケア推進部会

第7期高齢者福祉計画原案及び第6期介護保険事業計画原案を作成する
高齢者福祉計画等策定検討委員会の補助機関

作業グループ

- ①活動と自立を支える体制づくり検討グループ
(略称：体制づくりグループ)
- ②安心して生活することができる仕組みづくりグループ
(略称：仕組みづくりグループ)
- ③地域で暮らし続けることができる仕組み・サービスの充実検討グループ
(略称：ケアパスグループ)
- ④地域の見守りネットワークグループの体制づくりグループ
(略称：ネットワークグループ)

霧島市における高齢者施策の体系図



霧島市すこやか支えあいプラン2015

基本理念

心豊かな支えあいのまち ほっと霧島

- 高齢者誰もが、その生活や人生を尊重され、安心をサポートする適切なサービスや支援のもと、心身ともに健康で生きがいある生活を送ることができる社会を「心豊かな支えあいのまち」という言葉で表現します。
- 高齢者を見守るあたたかい配慮が心豊かな地域社会をつくり、人々が住み慣れた地域で、ともに助けあい、支えあいながら、うるおいと活力ある社会をつくりあげていくことを「心豊か」「支えあい」「ほっと」という言葉で表現しています。
- この理念は、第一次霧島市総合計画の保健福祉分野における施策の柱「たすけあい支えあうまちづくり」を踏まえ、目標とすべき高齢社会像を示すものです。
また、本市の地域資源である温泉などの特性を「ほっと」という言葉で表しています。

霧島市すこやか支えあいプラン2015

2025年の“きりしま”の姿

- 将来像1 つながろう、つなげよう、元気・安心・生きがいのもてるまち きりしま
- 将来像2 あなたも私もこれまで綴ってきた物語をともに描き続けられるまち きりしま
- 将来像3 誰もが自分の夢を描き、最高の人生を歩み続けることができるまち きりしま
- 将来像4 人と人の輪の中でともに支え合い私らしく活躍できるまち きりしま

基本目標

- 基本目標1 活動と自立を支える体制づくり
- 基本目標2 安心して生活することができる仕組みづくり
- 基本目標3 地域で暮らし続けることができる仕組みづくり・サービスの充実
- 基本目標4 住民ネットワークの体制づくり
- 基本目標5 介護保険サービスの円滑な提供と適正な実施

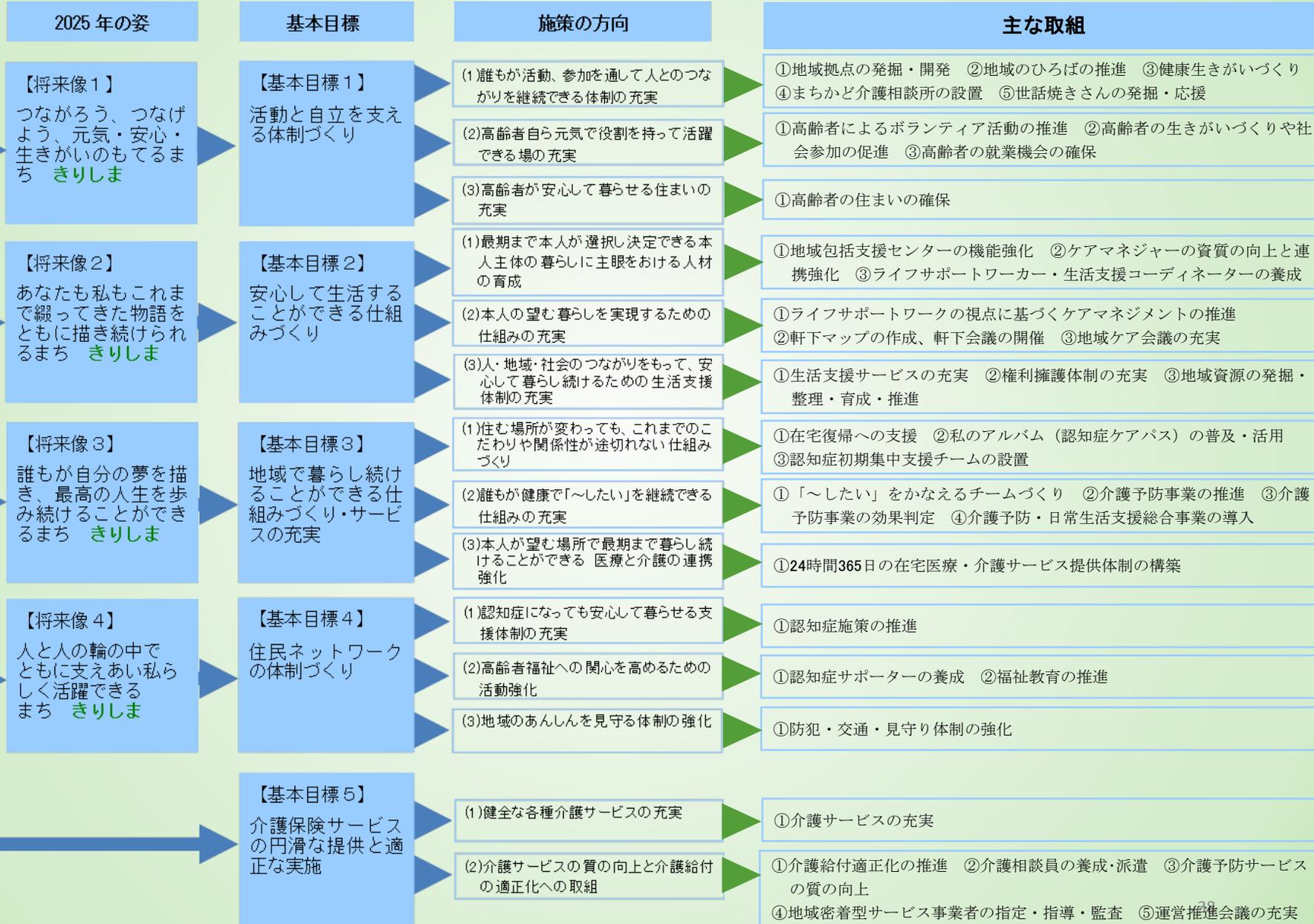
作業グループの活動風景



霧島市すこやか支えあいプラン2015

基本理念

心豊かな支えあいのまち ほっと霧島



平成28年度霧島市地域包括ケアライフサポーター活動内容

(目的)

(取組み)

A.地域のひろばグループ	住み慣れた地域で「地域のひろば事業」等を活用しながら自分らしい生活が継続出来、に根差した必要とされる総合事業に向けたモデル事業として充実させていく	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のひろばの効果的モデル事業の実施 ・地域支援コーディネーターのモデル実施 ・霧島オリジナル、おもしろ資源マップ作り(調査)
B.研修・レクリエーショングループ	研修等により霧島市地域包括ケア構築におけるサービス事業者の質の向上を図ると共に、それらに勤務する職員間のネットワーク作りに役立てるよう活動する	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修の企画、運営 ・ライフサポーターワーカ一月間報告書の内容、把握 ・職員レクリエーション企画、運営
C.ライフサポートワークグループ	「活動し参加出来る」事に焦点を当て望む暮らしの実現と、生きがいや自己実現の為の取り組みを、「私のアルバム」をツールとして活用し、取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフサポートワークの事業所への普及 ・私のアルバムの検討や普及 ・「～したい」をかなえる取組の実施
D.ボランティアネットワークグループ	ボランティアの活性化、ネットワークの構築を図ると共に、高齢者自ら元気で役割を持って活躍できる場の充実を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティア育成 ・ボランティアネットワーク作り
E.認知症サポーターグループ	認知症の正しい知識と理解の普及を図り、応援者を養成し、地域の見守り体制を構築する	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座、フォローアップ研修 ・キャラバンメイトの活動支援、フォローアップ ・ヒトココ(人命探査機)の普及と活用による見守りネットワークの構築
F.あったら良いなを創造するグループ	2025年を見据え、認知症や障害があっても、こういったものがあれば住みやすくなるのではというもの自由な発想で、生み出し、実現していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを使った医療、介護、住民ネットワーク作り ・高齢者の技術や力を報酬の貰える仕事にする企画 ・霧島オリジナル、おもしろ資源のデータベース化 ・旅カレッジ

霧島市地域密着型サービス事業者連合会で大切にしていること

- 霧島市内の地域密着型サービス事業者は全事業所加入
- 行政・包括支援センターも会員であり全体会議や役員会議には必ず出席
- ライフサポートワーカーを中心とした連合会活動
- イベントや研修について必ず目的を明確、共有する
- 研修・活動・話し合いを通じて目的を共有する仲間づくりを常に意識して進めている